滿州日報

○報價目
每月收取八角代賣所及送報人幷無分毫加增
○告白刊例
一行五號二十一字起碼登一日者每行二角每登十日行一角五分登月者每行每日一角登長年者價當面議
從減　每張四百文

特別廣告

▲資本金貳千四百萬圓
▲積立金一千壹百五拾萬圓
本店　橫濱
支店出張所　神戸　東京　長崎　大阪　倫敦　里昂　紐育　桑港　布哇　孟買　香港　上海　天津　北京　大連　旅順　奉天　芝罘　鐵嶺
電話　十番　支配人室　百八番　事務室
橫濱正金銀行牛莊支店

日本郵船株式會社
瀛船出帆廣告
營口丸　四月廿六日出帆　太沽、芝罘　門司、神戸行
乘船切符發賣は出帆前三時間マデ
未明出帆ノ分ハ前日午後五時マデ
營口代理店　旗昌洋行（電話廿六番）

瀛船出帆廣告
日海丸　四月廿一日入港
日東丸　廿四日入港
第二乾坤丸　廿四日出帆
乘船切符は弊行にて發賣仕候
注意
弊行取扱瀛船積載貨物に對しては無手數料にて迅速叮嚀を旨とし稅關に對する一切の手續を取扱仕べく候
松茂洋行船舶部（電話五二番）

新荷着
朝日ビール
スペシヤル、ライト
廉價販賣仕候
滿洲一手販賣元
松茂洋行商品部（電話五二番）

大阪商船株式會社
瀛船營口出帆廣告
能登丸　廿三日出帆　門司、橫濱行
盛航丸　廿四日　門司行
代理店　東營口公園地橫　ブッシュ兄弟商會
遠來洋行（電話二十三）

飯塚工程局材料出售
啓者本局今特與日本北海道天鹽木料公司商訂以日本輪船運到各種木料品質精良久己馳名四遠以之架造屋宅及製各色傢具無不合宜且價值格外從廉克己凡中外士商賜顧者請來本埠東營口元神廟街本工程局面議不悞此本十新到各種木料東洋炸子貨眞價實以應各主顧急之需
國本主人啓

宅合名會社分莊
運輸部
本號前在營口東營元神廟街自造日本酒澤龜印幷其名譽己傳播於滿洲全地矣今又擬在西營子老爺閣街同盛德院內分設支店一所發賣綿絲粗布火柴絲布絨衣荷標布手巾花巾東洋綴子洋胰鐘表貨物俱全而價值尤格外從廉且貴客賜顧時另派有一華人宋厚田氏細心接待以便商議一切凡中外士商賜顧者請辱臨爲幸
運般特得官准開設火車轉運行於東西兩店幷牛家屯分此殊以李吉甫田彫超等之華人敏活細心以責任欲膺事與本業賜顧幸甚
總司理人田中賴之助謹白　電話　東店五五　西店一会

東盛和
本號在營口創設二十餘年專辦出口餅油豆各等土貨進口棉紗布疋火柴洋麵糖煤雜貨發行並滙兌銀錢兼代客經理買賣租船裝運事宜營口廣東兩處自建碼頭能泊輪船二艘棧房地方寬大凡泊輪船裝卸貨物極爲利便囤貯油餅豆米麥更爲合宜兼置有輪船一艘名域多利能載重二萬担如有欲租船運貨及存棧貨物水脚棧租格外從廉貴客賜顧請到小號面議是荷
總司理人　葉亮卿謹白

東永茂
機器油房在營口創辦油搾生意多年以本營業幷祇做油房壹事及經理買賣雜貨布疋等物幷代客莊運汽船配載事宜三井行與本店素稱交厚並與各南北客經理有年誠信相孚遐邇知之
正理事潘玉田　副理事金德魁　設在營口西北街路南

西義順
本號開設營口西街老爺閣前路南警乙第五號專管裝卸輪船上下各貨照料穩妥堆棧寬大凡中外士商賜顧者請認明招牌決不致悞
本主人敬啓

仁裕號
係裝運各幇火輪船生意兼賣各幇洋什貨糧石等此佈
營口西大廟街路北警乙第十三號

丸三洋行分莊
啓者本行開設於元神廟街精工自造羊肚手巾東洋衆身洋式襪子以及各樣雜貨俱全無不精美價値格外從廉賜顧者請光臨本行面閱是幸
丸三洋行分莊謹啓

永順洋行
本行在東京開設三百餘年專辦布疋此次得大日本政府特許般運各色布疋手巾綢緞綿子法蘭絨等貨來埠發售顏色鮮明俱照中國土布家機自染決不退色價亦格外公道官商光顧請到本行面議
西北街　東櫃（電話九十五番）
西義順棧內　西櫃（電話九十八番）

代代木烟公司
本行專售　日本官造紙烟　星象牌（斯違）櫻花牌（擡和）百合花牌（利利）均已馳名內外茲特選上等烟料加工精製雙仙鶴牌（隆沽來福）清香撲鼻佳美適口而價値極廉　諸尊欲講可向敝行或請至本行公司代理店西營口大德元採買庶不致誤謹此廣告

本行瀛船
摩耶山丸　穎朝丸
專往東洋各埠
啓者本行開設在東營口輪船代理店海上火險公司及報客稅已有年矣今承關東總督府之特准開設東清鐵路公司運送貨物自牛家屯大撫平昌圖府均有分棧大連鐵嶺另有分行幷各有中國人辦事今又設理雜貨生意專辦上等石炭棉花火柴洋布旭牌卑酒日本清酒概俱全另有清國人執事如蒙中外士商光顧請來元神廟街爲荷
松茂洋行（電話五十二番）

三井
電話　第六十六號　第九十一號
啓者本行開創在中外通商各埠已有年歷所售棉紗、棉布、火柴、煤炭糖、海參等各貨均皆物美價廉名馳遠近如蒙各商光顧請駕臨是荷

○發售新到洋白糖

倉庫部
今回倉庫所在地（青堆子精搗場上隣り河岸）の取扱所に電話を架設致し候間貨物の出入其他倉庫に關する一切の件は同所へ御照會被下度願上候
（電話百二十八号）

經理
○明治火險公司
本公司開立已久分行上海、香港、天津、各地方中外馳名一概章程仿英例一式遇事克己秉公以廣招徠有願保火險者請至本行面議

○發售、日本白米、

○東京水險公司
啓者本公司開設在三井洋行內已久實存資本百五十萬元、分行、新加坡、倫敦、孟買、天津、上海、香港、各地方中外馳名一概章程仿英例一式遇事克己秉公以廣招徠有願保平安、水漬、兵險者、請駕至本行面議

洋行
電話　第六十六號　第九十一號

生徒募集
營口瀛華實學院招入學生
今般本院に於て在留邦人子弟の爲め尋常小學部を設置し曩に督促書を差出したるも尚遺漏の分もある可くに付特に廣告候條學齡者は至急本院へ照合し入學手續を爲すへし
營口　瀛華實學院
本學院肄業諸生頗著成效惟是從去歲常有陸續來學者本學院雖亦收入然班次不齊以致授課之時諸多未便茲因添設樓宇地勢寬宏學生宿舍各種器具無一不備現擬招入學生俟額數充足即行擇期一律入學有志願學者速到本學院報名每日上午九點鐘至下午兩點過期不候特白
營口瀛華實學院

新荷着
▲板材木▲木炭
▲生石灰▲竹
▲亞鉛板▲洋釘
▲日本米▲疊
喜久洋行
營口永世街八十號（電話百五十二番）

周
東清鐵道裕和盛運輸局
任東營口西北街旗昌洋行對門
（電話八十一號）
啓者本號向在日本長崎開設數十年幷分店在朝鮮國漢城仁川木浦旅順烟臺營口鐵嶺等處專賣中外雜貨疋頭食物器具酒烟兼代客報關裝船裝車今又承辦東淸鐵道運輸局代客裝運貨物各車站均設分局格外周到不悞主顧
總司理主人　周鶴雲
運輸部主任　高濱麟太郎　謹啓

稅關手續
一船舶代理
一貨物取扱
一委托販賣
弊公司昨年開業爾來引續キ營業罷在候處今般業務ヲ擴張シ解船、市內貨物運搬及貨物保管等ニ應シ敏速ヲ旨トシ殊ニ爲替付荷物及諸雜費等御依賴ニ應シ御立換可仕尚其他精々御便利ヲ相計リ可申候間倍舊御用仰付ラレ度願上候也
營口英國領事館東首　綏定門街第五〇
三仁公司（電話一五〇號）
小島榮哉

上海中井洋行
專運日本各式紙料
本行開設已歷多年曾與日本製造名廠有專銷之約凡新聞紙料印書籍各式紙莊票包棉紗料草板紙張日本機器連史紙五彩印字連墨其他各件紙料一切統由本行出售貴客惠顧請至江西路五十一號門牌可也
中井洋行

一、東淸鐵道貨物取扱
一、貨物集配
●、瀛車貨物積卸シ
右は安全、速達、誠實、廉價を旨とし精々御便宜を計り申候間多少に拘はらず御出荷奉願候
關東總督府特許
丸重洋行
營口西北街（電話一八番）
牛家屯停車場構內（電話四六番）

鐵嶺獎學彩票發售
由五彩至八彩共計八百貳拾六彩
彩票數
每號出售票洋壹圓　貳萬號
一頭彩一號　得六仟圓
一貳彩一號　得三仟圓
一三彩一號　得壹仟圓
一四彩一號　得五佰圓
四月末日開彩
鐵嶺軍政署內獎學會彩開
營口天順吉代售

齒科名醫到營
治療齒痛之法爲衞生上必要之一端固未可以等閒視之也然本埠竟無良醫余甞深以爲憾頃二志士特請居留天津之齒科名醫田添豐二君來營即在舊高田洋行內從事治療先生前在天津法租界開業久爲中外人所信服其技術之良否茲不復贅如有患齒疾者請速至該處診視愼勿失此機會特此聲佈
營口有志者白

太古輪船公司
啓者本公司自派溫州牛莊兩輪專走營口登州龍山一往一來接續不斷搭客配貨均由本行碼頭上落甚屬利便水脚素來公平船上應酬搭客無不週到歷辦數年遠近馳名知者稱便用登報端以期廣告
營口　太古輪船公司

遼河運輸同濟公司
本號經官准由營口包運東淸遼河各埠車船貨物凡客商有運之貨望交本號及各處分莊運送決無悞失如蒙　貴商光顧者請至本號面議特仰週知
東櫃　營口南永世街北斗洋行
西櫃開設　營口西北街塘子胡同內

一連紙　一連
一フールスカップ　全
一中判洋紙　全
一半紙野紙　百枚
一巻紙　四十枚綴
一椅子
一簞笥
一卓子
一卓子掛
一厨房用戸棚
一長火鉢
一箱火鉢
一宜德火鉢　一對
Rates for Advertisement 20 cts. per line.
Payable in Advance. Postage Included.
The Manchuria Daily Report Office.
Newchwang.
Telephone No. 29.
料　一ヶ月以內　一長期連掲減價面議
發行所　清國營口中盛街　滿洲日報社（電話二九番）

東京電報

●桑港の大地震
十九日著電に曰く北米桑港市に突然大地震起り現に盛に市燒失しつゝありて已に死者三百人に達し損害額一億弗に及べりと(十九日午前四時十分發)

●本日の觀櫻御會
本日の觀櫻御會に召されたる内外人は五千六百七十二名にして横濱碇泊の米獨英佛軍艦よりも上陸参列者多く例年より外國人五百名餘を加ふ

●大祭と帝國艦隊
靖國神社大祭参拜の爲め第一第二艦隊東京灣に集合すべし

●總理秘書官の更迭 總理大臣秘書官に更迭あり中島氏の代りに中川京都大學書記官任せらる

●參謀本部第二部長補任 松石大佐は參謀本部第二部長に補せられたり

●桑港震災別報 桑港大地震の爲め電信局員局舍を去り同地の電信無期限に遲延するとの公電あり

●漢口と特別會計法適用 本年度より漢口日本專管居留地に在外帝國專管居留地特別會計法を適用することに爲れり

●工作場設置の請願
澁澤大倉等韓國に水力電氣會社創立の目的を以て工作場設置の願書を農商工部大臣に差出せり

●高嶺博士の敍勳
工學博士高嶺讓吉氏は發明の功により勳五等に叙せらる

●星松三郎氏死去 星松三郎氏十八日死去せり

●桑港地震の損害
桑港にては地震に續きて火起り死者一千餘名あり同地を中心として八十哩の各都市壞崩若しくは多少の損害を蒙れり支那人町は大騷ぎを生せり財産の損害四億萬に上る數十萬の人住むに家無し

(以上四月二十日發電)

倫敦電報

●ナタルの義勇兵
英領ナタル殖民地政府はグルーランド駐屯の爲め特別義勇軍團を組織せむとて二圓五十錢の日給を以て義勇兵の募集を廣告せり

●市長の乘組員招待
英國リバープール市長は日本帝國軍艦香取の乘組將校一同を招待して晩宴を張りたり

●米清の祝電交換
米國海底電線は上海迄で工事完成せしを以て米國大統領ルーズベルト氏と清國西大后陛下との間に祝電の交換ありたり

(以上四月十八日發電)

雜報

●吉林雜觀(三)
一樣客

吉林將軍達桂氏

露國は吉林の恩人なりと謳歌せる吉林將軍達桂氏は年齡五十五六學なく識なき老爺なるも頗る蓄財に老け巧に官海を游泳しつゝあり漢軍正白旗人にして曾て阿勒楚喀地方副都統たり後ち署理黑龍江將軍として露國に媚び遂に昨年八ヶ富順將軍に代つて吉林將軍の要職を握るに至れり吉林の巷話謠ふて曰く達將軍や八月を以て就任し八月を以て涙任せんと童謠八月の退任とは本年の八月なるか明年の八月なるか之を豫想し難しと雖も新流行フレノロジーより觀察すれば來る八月と云ふを以て當れりと爲さん想ふに彼れの北滿洲に於ける位置は常に露國と關係を有し其勢力に依つて轉々しつゝあり吉林に於ける露國の勢力來る八月頃を以て減退するとせんか彼の位置の顛覆するや勿論なり前將軍富順は露國藥籠中の一人たりき彼れ暴酒の爲めに頓死するや露國は直に達爺を拉し來つて吉林に置けり達爺が露國を恩人なりと謂へるは吉林の恩人にあらす其實自己の恩人たればなり將軍の夫人某氏頗る令聞あり豚肥へに太りたる老醜婦なるも其賢なる無鹽に譲らす將軍の學識なきに引換へ夫人は相應の學識を有し告論批判等一に夫人の手に成る内に在つては將軍の文事秘書官たり外に對しては交際場裡に立入り縱横にへチ廻りつゝあり露清交涉問題起らんか肥へ太りたる老醜婦は遠慮なく露國將官若くはカミツサーを訪ひ直に其腕を捉へ肩を叩き半熟の露語を以て大聲に談し出し彼等をして承諾の意を表せしめすんは已ます露國軍人も此老夫人には頗る閉口すると見へ途上若し出會せば若き士官等は狼狽して途を避けつゝありと云ふ吉林の奧村婆サンとも云ふへき達夫人は此の如く露清間の密接を計ると共に部下の官吏に對して非常の權威を揮へり官吏等は表玄關よりも寧ろ裏の勝手口に叩頭するもの多く將軍蓄財の源は實に勝手口に在りと云ふも可なり凡俗なる達桂をして兎に角現在の位置に押上げたるは半ば老醜婦人の御轉婆にありと云はさる可らす御轉婆の働きや恐る可きかな

れて翌十三日安東縣に向け出發せられたり、

▲小山軍政官の歸朝 當地占領以來奉天軍政官として夙夜部下を督勵して内外の衝に當り治蹟赫々商民皆な其徳を頌したる小山中佐は頃日不例なりしが愈昨十六日當地出發病氣靜養の爲め一時歸朝せられたり、留守中の事務は内村通譯官に於て代理すへしと云ふ

▲趙將軍と密査 趙將軍の曾て北京に於て彈劾せられし事は聞く所なるが頃日三名の京官北京より特派せられ其治蹟如何を密査しつゝありと云ふ

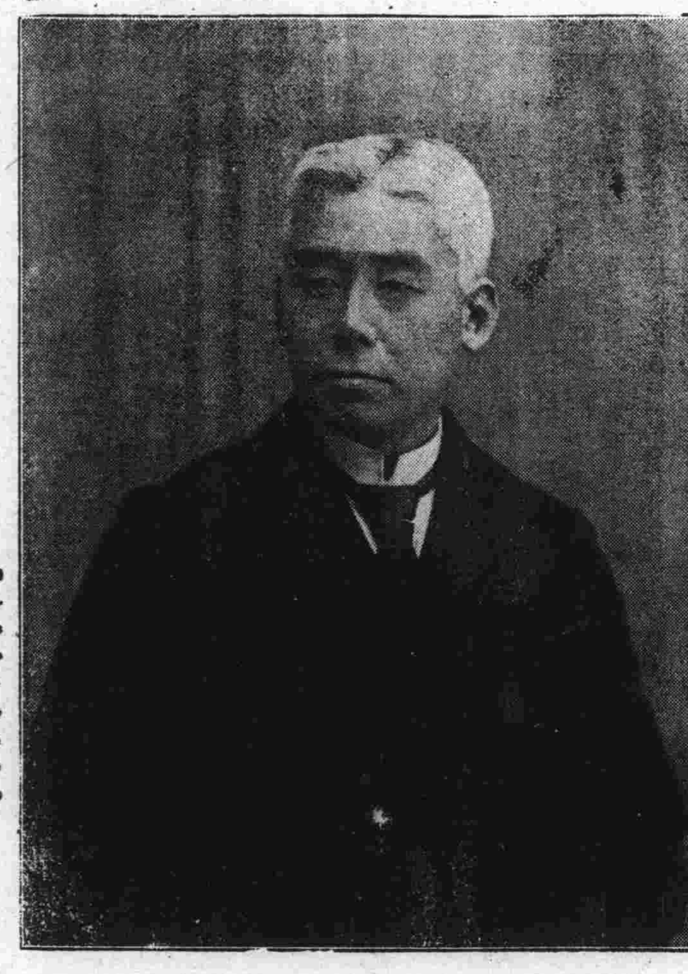
▲新渡戸博士の來着 兼て京都大學に在り又た臺灣農政にも經驗ある新渡戸農學博士は今回清國官場の傭聘により過日來省目下奉天交涉局内に止宿せられ居れり

▲陶觀察の三面六臂 驛巡道臺として去月當地に赴任せし日本通の陶大均氏は採藻縉の後を襲ふて交涉局總辦を兼ね治蹟見るへきものあるのみならす商務局工務局をも兼管し盛に敏腕を當地官場に振ひつゝあり尤も工務局は今回總辦を任と共に事務引繼を了たりと云ふ

▲陶彬氏 名率 陶大均氏の親戚にして奉天交涉局幇辦なる陶彬氏は年壯氣銳の外國通なるが我軍奉天占領以來交涉局に在りて總辦を補任し交涉事件を辦ずるや和平主持頗る老實の風ありて些のハイカラ青年官吏風なく内外の名聲ありと云ふ

▲商務總會と公議會 當地商務總會は公議總會に向け會首官選の條件付にて合併の申込をなしたる由は前便所報の如くなるが公議總會に於ては會首民選を極力唱導したるを以て商務總會に於ては一先つ右申込を撤回したりと云ふ斯くて再び現在の光景は兩會の睨み合ひなる舊態に逆戻したり

●關東州の財政
關東州民政署は將來臺灣と同じく經濟上の獨立を期すべき筈なるも現在同所の収入額は約百萬圓に過ぎずして未だ俄に獨立する能はざるも徴税法を精密にする時は優に百三十萬圓の収入を得べく之に域る有力なる財源を加ふる時は合計四百萬を得優に其の獨立を得る都合なりと



内務大臣原敬氏

●土屋山中二中將
大戰役收結後第一次の師團長會議に列席すべく歸朝せられたる土屋山中二中將は去る十三日丹波丸にて似の島へ著せられたる由なるが檢疫の上山中中將は直に松山に向ひ土屋中將は宇品に上陸し木越第五師團長の出迎を受けられ吉川旅館に入られたる由なれば兩中將とも昨今は已に上京せられたる筈にて來る三十日の大觀兵式には特に參列の優旨に接する筈なりといふ

●關東民政署の事業
關東州民政署の本年度に於て着手すべき事業は大連市街の道路改修水道擴張及び市街擴張等にして其費用も頗る巨額に上る由なるが就中大連の水道は露國の經營せしものにて給水地の不完全なる爲め一般の需要を充たす能はざるを以て民政署にては是非とも本年度の事業として從來の給水道を改築し喞筒の据換へ排水場の増築等に約五十萬圓の費用を投じて完成せしむる筈なりといふ

●開原の馬賊
鐵嶺憲兵分隊長增田大尉の當地軍政署に宛てたる報告に依れば開原の南方約八清里の編坡臺に十數名の馬賊各々銃器を携へ去る十七日午前一時頃襲來せし由にて同地の團練會之れに抗して擊退したるを以て何物をも得ずして逃走せしも此際同會長李康林なる人腹部に貫通銃創を受け開原兵站病院に收容せられ治療中なりと

●滿倉支庫一部の凱旋 滿洲軍倉庫營口支庫員の主なる人々の一部本日凱旋せらるゝ由にて昨日は午後一時より殘部の人々と留別旁々軍隊芝居をなし非常の盛況なりと云ふ

●仙波少將の去來 仙波少將は昨日午前來營即日歸途に著かれたり

●區長會議 瀨川領事の推薦に係る營口九區の區長第一回相談會を昨日午後三時より領事館内に開催せりと云ふ因に軍政署よりも憲兵長代理として細井特務曹長臨席せられたりと

●黑澤氏の出發 豫報の如く副稅務司黑澤禮吉氏は昨二十日午後三十五分牛家屯發歸朝の途に就かれたり

●省城近事
(四月十七日在奉天特別通信員發)

▲大島總督の通過 關東總督大島大將には大觀兵式参列歸朝の途次去る十二日當地着仝日午後趙將軍を訪問せられたり、到着に先たち日清官紳の停車場に出迎したるもの尠なからす、而して當日沿路の街衢には清國巡捕を增派して警戒し、軈て午後四時大將は小西門より入りて總督衙門に至り趙將軍と會見せられたり將軍は席を衙門内に張りて省垣官塲中重なる清官と共に大將以下隨員の武官並に當地駐在本邦武官中重なる人を招して晩餐を供せられたりと云ふ、斯くて薄暮大將は城外に出て仝所宿舍に一泊せら

●人物月旦
覆面郎

松倉善家君 (下の下續)

松倉氏が商業家の資質に非るは自らも亦た認めさる者に非す、則ち之を認むるか故に、明治三十二年牛莊商品陳列所の開設と同時に、田村、常念、莊村等の諸輩か、農商務省の實業練習生として營口に派遣せられ、實際上彼か監督の下に清國の商業を實地に研究する事となるや、彼は研究の名目の下に、東肥洋行の營業事務を手傳はしめ、而して彼等か年、一年と年と共に經驗を積み、漸次實質の實際に通曉するに及ふや、彼は更に其中より適良なる人物を撰拔して、自巳か營業顧問と爲し、商取引の手足と爲し、以て自ら其短を補ふに努めたりき、

且つ夫れ當時の如き、東肥洋行の店舖も農商務省が商品陳列用の爲に借入れたる者と爲す、吁其家屋は農商務省の家屋にして、其の使用人は又た農商務省か商業練習の爲に派遣せし官費生たり、此間に處し雜貨を販賣し、豆を買入れ、山繭を輸出す彼れ其れ假令商業家たるに於て種々の缺點を有すると雖も、豈に徒に損失を蒙るあらん、若し夫れ最近に於ては、松倉氏は醬油を釀造し、鑛炭業に從事するも、實際の業務は當時の練習生、田村氏の凡て營む所に係る彼は唯た看板男のみ、則ち大体を指揮し或は監督するに過さし、資買の時機、取引の掛引は概ね田村氏に依りて決せらる。彼れも亦た中々に甘からすや、否な用意の周到見上く可し唯た夫れ彼は斯の如く自ら能く其の短所を知り部下の長所を採用して巧に之を補ふ、蓋し商業家に非すと雖も尚ほ商業家と比肩し、商戰塲裏に馳騁し、甚たしく遜色を示さゝる所以とす、

抑も松倉氏は熊本縣飽託郡春日村の產にして、政治家や有志家に多くの知人を有する者たり、殊に時代を等ふせる同輩の間に於ては、若くは多少の年長者は之を例へは朝鮮の安達佐々清國の宗方井手諸氏の如き、概ね先輩の轍に倣ひ、政治家を學ひ將た有志家を以て任せさるは非るに、彼か其の性質の商人に適當せさるを認識し且つ半生の修養を放擲し、獨り先輩の轍に倣はすして、徐に大勢を觀察し、靜に自家の行路を定めたるは、蓋し尋常凡介の士の能く行ふ能はさる所にして、實に賞賛に價せすと謂ふ可らさる也、想ふに松倉氏か商業を發心せしは、餘儀無きに出てたる者ならんか、則ち彼は依然として素志を抱持せるも、大言壯語、徒に劔を案するの到底抱負を貫徹するの道に非るを大悟し止を得すして商業に從事するに至りたる者ならん果して然らは、中道に於て商業宗に改宗せしは、目的を變更せし者に非すして其の手段を變更せし者のみ、彼の抱負は依然として當年の抱負なるならん寞遠日清戰役に於て、北清事變に於て、將た又た今次の戰役に於て、彼の行動は寧ろ商業以外に於て特筆すへき者甚た少からさりしとす、且つ平素の交友に付て見るも、彼の親善する者は又寧ろ商業家以外に頗る多きを見る、マキヤベリー云はずや目的は手段を辨解すと唯た問題は手段の難易如何にあるを知るへし、今ま即ち之を觀るに、彼の手段は最も時勢に適應すると共に彼の注意は又た其の短所を補ふに足る商業家は夫れ彼に適當の看板に非るか、誰か云ふ商業家は途に彼か身の破滅と咄、商業家は彼か破滅を救濟せし者、彼に商業家の看板あり則ち以て僅に將來を刮目せしむ 彼は同郷の輩等に比し其の眼識優に一歩を拔く者と云ふて可也好漢請ふ自愛せよ、(完)

投書かご

▲南永世街の或料理屋の小ヤカタは自分が帳塲を爲し板塲を爲し其うへ下女の代理迄して稼いで居るクツン坊の男だ抱女等は皆自分の郷里の近所の者を連れて來て娼賣をさして居る女共が不同意を唱へると親よりの依頼だと謂つて無理に壓制をする女共の取前は四分六分だが種々樣々の事を遣つて金をカスリ取る此程も或抱女が暇を取らうとしたら客の貸付迄辨濟せよといふので軍政署へ持ち出したらさういふ金は辨濟する必要が無いと言ひ渡しがあつて隨分小氣味が善かつた併し其姐さんは其後到頭小ヤカタから胡魔化されて了つたとは馬鹿氣た話ぢや(御近所の者)▲翁亭御主人に御尋ね申す兼て御披露ありたる籤引は小便になりはしませんか(待兼生)▲或町の小料理屋二三軒には何時見ても白臺澤山のチャンコロ先生等押寄せ家中よりは白首連妙な目つき手眞似を爲して居る成程是れでは日本婦人の肉は豚肉より安くして僅か二十五錢位だとの支那人間の風評も無理は無いやうだ(一老人)▲當地の或御役所へ御出勤の鼻下長は第二市塲附近の何とかいふ二層樓のお寢居さんと御安くない中のさうなが何時も支那人に手紙を持たせて御文通があるのを見る隨分繁しいやうだ人物らしく蟲も殺さぬやうな眞黑な髭面でも戀は思案の外とは能く言つたものだ(岡燒生)▲末次氏に告ぐ採用の意向ありと申したるは軍政署土木課より問合せありたるが爲めに候貴殿の氏名は同課へ通じ置きたり直接出頭御尋ね相成りても宜しきかと存じ候(本欄掛)

馬賊 紅雨

世を擧げて平和春を呪咀ひて
轟蹴破つて髯子百騎出づ
春は唯だ我れ失戀の恨あり
花を散らさむ血をば流さむ

車 虚空洞

麗かや町を後ろに乳母車
朧夜の門を訪ひけり人力車
青麥と花菜を縫ふて蝶る滊車
乘合の馬車轟くや春の月
鶯の啼く朧月夜や御所車

●營口花信 編輯局諸兄營口の花柳界に無名の尤物あり、姿勢高尚にして容色艶麗、音聲亦た朗々として宛も玉を轉ずるが如く、眞に斯界の珍也曾て臺灣に在るや艶名嘖々全島を風靡し稀代の全盛を極めたりと云ふ、勿驚、東京の產にして藝名染子、本年取つて花の盛りの拾有九歲目下營口は司法部に近き某料亭に在り、夜な夜な不遇を嘆して孤燈影暗き所に流涕滂沱の体編輯局諸兄聞之く貴社の朴捻老大人は暗に斯界の伯樂を以て任ずるの人とか夫れ果して然るか板垣生くるも自由死する今日老大人倘は驥錄として餘勇を示し、營口肉施獨り不遇を嘆ずる深く怪むに足さる如しと雖も吾人彼女の爲に遂に一掬の涙無き能はす、知らず朴捻老大人は以て如何となさるか若し夫れ編輯局諸兄は願くは一日閑を得て某亭に彼女を見る庶幾くは積日の勞苦忽ちに一散せんかな呵々(飛入伯樂)

汽車

▲上行車時刻表

車站名	開午點分	到午點分
新民屯至溝幇子	上六、〇〇	上九、五七
營口至山海關	上八、二〇	下六、〇〇

▲下行車時刻表

車站名	開午點分	到午點分
北京至山海關	上八、〇〇	下六、二〇

稅關手續 船舶輸出入荷物取扱

諸鐵工製作 營口ブロック 川鐵

天氣豫報 營口地方 自二十日午後六時至廿一日午後六時

小説

新作小説　おとし胤（四十二）　德田秋聲

光は、幾ら悲しいことがあると謂ッても、他の女のやうに、何時まで、めそ〳〵泣いてゐるやうな女で無い。それで數馬に謂はれると直に、泣顔を笑顔にして了ッた。そして數馬と一所に庭へ出た。庭へ出て、毎日見てゐるのであるが、温室を鳥渡覗いて、熱帶地方の植物だの、南洋から取寄せた花だのを、今更のやうに珍らしげに見て、それから菊花壇まで來て見た。

菊は、もう盛に近い。今年は一層の出來榮だと謂ッて、子爵の氣焔の高いほどあッて、成程素人の眼にも好い出來と思はれる。白、黄、蜀紅、または何んとかいふ珍花、或は一輪咲、五十輪、百輪、中には五百輪もあらうかと思はれる寄植があッて、芬、馥郁として微に鼻を撲ツのであッた。花壇の長さは、やがて一町もあッて、それは見事なものである。

「ま、奇麗だ！」

昨日から見ると、今日はまた、一段と美しくなツてゐるので、光は、たゞ驚歎するばかり。彼女は、此く澤山の菊を一と箇所に揃えて見るのは、今年が初。それで見る度に、其の大きな仕掛に驚くのであッた。、、、、見てゐるうちに、心が、うツとりとして、たッた今まで悲しむでゐたことも、口惜しいと思ッてゐたことも、何も彼も、奇麗に忘れて了ッた。從ッて、顔も晴々しく輝いて來た。

菊の前に立ッて、光の顔も、姿も、一段と美はしく、一段と氣品が高く見ゆるやうになッた。恰で、菊の精が人となッて、其處に立ッてゐるのでは無いかと思はれる。向ふの木立の中から、小鳥が、低いけれども、妙な自然の音樂を送る。

數馬は、此の聲に耳を傾けてゐて、其の靜な音調に、微妙な感を胸に湧起しながら、ふと光の顔を見た、それから、姿を瞶めて、今更のやうに見惚れた。

「此の菊花壇は、兄様の熱心な丹精で、此様な奇麗になッたのだが、此の光さんは、誰の丹精で此様な奇麗になッたのだ。」と考へながら、「これこそ自然の美だ！眞の野の花だ。自然の神の手に作られたのだらう、氣品が違ふ！人の巧に出來た其と違ッて、露ばかりも塵の氣が無い、實に神品だ。」

と思ふにつけ、數馬は漫に、此の清い少女を、此くも濁ッた家庭、此くも紛亂した家庭の人として置くことの、慘忍であり、また一種の罪惡のやうにも思はれるのであッた。此の清い少女に對して、海鹿家の人の心といふものは實に淺猿しい！其の淺猿しい人の心の惡氣を、此の少女の胸に吹入れて惱ますのは實に氣の毒だ！慘忍な仕業である。と、其から其へと思を走せて、數馬は一種謂はれぬ暗愁に打たれるのであッた。

「併し何んだ。」と數馬は頸を振ッて、「此の花壇と、光さんは實際兄様の生命なんだ！」

と思はず口走ると、

「え、何んでございますッて？」

と光は、何んのことかと問反すのであッた。

數馬は、微笑しがら、

「何有、此の花壇と、貴方はね、兄様の生命なんですよ。」

光は、にッこりする。白い蝶が一羽ひら〳〵と飛んで來て、光の前後に舞ふので、光は、袂で、それを叩落さうとして、後を向くと、御殿の方から、此方に向ッて、すた〳〵駈付けるお小間使。

「何んだらう。」

光は、蝶を放擲ッて、お小間使の方を眺めた。お小間使は、息を喘ませて駈付けて來て、叮嚀に會釋しながら、

「あの、數馬様。熱田様が、お出になりましてございます。」

「熱田が。」と數馬は、少し考へて、「然うか。此處へお連れ申して來て呉れ。」

「あの、此方へでございますか。」

「むゝ。然うして何んだ。麥酒とな、林檎とへムを少しばかり持ッて來て呉れ。那の、お亭へな。」

お小間使は、直に引返して行ッた。光も、後に從いて引返さうとすると、

「光さん、熱田だから管はんよ。此處にゐるが可いさ、土岐さんがゐないんだから、お室にゐたッて滿らんぢやないか。」

「え、ですけれども、お邪魔ではございませんか。」

「些とも邪魔なことはないさ。居るが可い、居るが可い……………」と謂ッて、ふと思出したやうに、「土岐さんは、何處へ行ッたのですか。」

と妙に極の惡さうに問ふた。

「何處へお出になッたのでございますか。私、知らなくッてよ。先生、今朝早くお出掛になッたのよ。」

「然うかね。」

と數馬は嫌な顔をした。

從二位勳一等子爵長岡護美君去る八日薨去相成候に付來る二十二日（日曜日）午前十時より日本人會々議室に於て追悼會執行仕候條御參拜相成度此段有志諸君に謹告候也

四月十五日

主唱者
片山敏彦　松倉善家
飯塚松太郎　小鋤芳
小泉市太郎　牛島吉郎
佐々江嘉吉　後藤麟太郎
瀬波專平　大野弘
石崎廣治郎　會田常夫
小田原寅吉　阿部善三郎
宮村榮治　新庄瞰
上野源次

森病院
一診察　自午前八時至正午十二時　自午後三時至午後五時
一往診　午後三時より
▲患者の入院治療を諾す
▲貧困患者の施療は正午十二時より二時迄
姙婦の入院を諾す（産婆大道しげ子）
院長　醫學得業士　森嬌
副院長　醫學得業士　長船郁太郎
◎院長森嬌久敷歸朝中の處今般歸營診療に從事す
◎本院齒科開設　齒科醫　兒島市郎
五月一日ヨリ開設ス
森病院（電話一五五）

和洋雜貨
盛進商行
新着
椅子　卓子。窓懸。卓懸。花莚。マツト。油多加織。ビロードセン。

開業
甘華貿易兼運輸業
一昨年來御引立を蒙り候本公司は昨年平和克復後暫く休業中に候處今般更に開業業務聊か擴張仕候間倍舊の御愛顧偏に奉希候
元神廟街二四八號（電話局向）
月　日
義安公司
廣告

廣告

廣告
●金露印日本酒　七百樽
右四月二十一日正午茂生洋行（イー、エー、サーザエント會社）構内に於て競賣に附し可申候
競賣人　ヂエー、コツク

滿洲の花見
今回新に取寄せたるジオラマを以て日本各地のあらゆる名所美人等を組入明日より三日間無料御縱覽に供し申度何分殺風景なる當地方に御在住の事に候へば定めし我内地の風色に憧かれ給ふ事の御同感と存候に付き特に機中寫眞は櫻花爛熳の好季に撮影したるものを撰で挿入致置候間續々御來觀被下度奉希望候
營口元神廟街
三船寫眞館

旅館　御料理
奉天大西關大什字街第五分局千〇六十八号
扶桑館
館主　堀田ハル
電話　号

一料理用白味噌、赤味噌、
一煙草類、東京淺草海苔、木炭、萬醬油、白米、等鰹節、
一罐詰類、
一瓶詰雲丹、酒盗、コノワタ、
一清酒澤龜特約、並に瓶詰、
一酢、ビール、葡萄酒、洋酒類、
其他日用品乾物雜貨新荷着仕候に付多少に拘らす御用仰付られ度伏て奉願上候也
東營口永世街第廿八号
雜貨商　大原洋行

大阪商船會社荷客取扱所
内外船舶代理　貨借仲立　輸出入税關手續
瀛船出入案内
英航丸　廿一日出帆　門司、横濱行
能登丸　本日入港
御乘船の御方は御一報被下候へば切符持參可仕候尚御手廻荷物は當店送達組に御用命仰付被下度奉願上候
解船人夫運搬請負　水陸輸送貨物仲次所　諸品委托賣買　倉庫業
西北街
德重洋行

齒ノ衛生治療ハ一日モ等閑ニ附スベカラズ然ルニ當營口ニ良齒科醫ナキハ予輩ノ常ニ遺憾トスル所ナルヲ以テ二三有志者相謀リ在天津ノ該科名醫田添豊三君ノ出張ヲ請ヒ河岸通リ元高田洋行跡ニ於テ本日ヨリ約三週間治療ニ從事セラルヽ事トナレリ君ハ夙ニ天津佛租界ニ於テ開業シ内外人ノ信用ヲ博セラル其治術ノ巧否今復之ヲ贅セズ齒患ニ艱メル諸君及齒ノ衛生ヲ重セラルヽ諸君ハ此ノ好機ヲ逸セズ陸續君ガ治療ヲ受ケラレンコトヲ望ム
四月十二日
營口有志者白

歐米各國最新流行形
西海洋服店
永世街一四一（森病院三軒目）
（電話百二十七號）

時下艶春花を見るの好時機と相成候處各位益々御清康の段奉賀候降而弊閣儀料理部開店以來幾多諸君の御愛顧を辱し深く御禮申上候隨而今回旅館部開設いたし室内の衛生裝飾等細大漏らさす御客様への御便利を充分注意致し候間重ねて御引立を蒙り度此段伏而奉願候
敬白
營口二本町
祇園閣旅館部
主人
（電話一四四番）
各位

一關内外盧漢鉄道貨物運輸
但シ營口新民屯間ノ鐵道輸送ハ特ニ充分ナル御便利ヲ圖リ可申候
但弊店事務所及郵船會社代理店内派出員ニテ事務取扱
一海關手續
一鈔關手續
但西營口鈔關裏手東玉昌方ニテ事務取扱
一船舶貨物取扱
一其他水陸貨物運輸ニ關スル諸業
右營業仕候間陸續御用仰付被下度願上候
營口西北街第二七二號
大淸通運公司
營口支店

和洋　會席　御料理
一弊店の特色は座敷廣くして大宴會に適當なり宴會の時は舞台に造附且又會費等は特に割引大勉强仕候
營口永世街二本町
日本館
（電話百三十）
各位様

會席料理
營口警務課前南に入る
三日月

御手輕料理
一釜飯御一人前　五十錢より
一卷壽し　一本　十五錢より
一湯豆腐　一壺　廿五錢より
一東京壽し　一人前　卅五錢より
右之外御誂に應す
月　日
營口元神廟街二〇九號
翁亭

和洋御料理
一力
舌代
弊店儀開業以來各位の御引立に預り日増隆盛に赴き候段奉鳴謝候隨て今般各位御愛顧の萬分一に酬ひん爲め内地より有名の料理人並に藝者仲居を呼寄せ殺風景なる滿洲に得難き珍味と快感を相供度座席裝飾に至る迄凡て一新致候間續々御來遊被成下度奉希上候
樓主　敬白

料理部開業披露
弊館是迄旅館專業に御座候處今般新に料理部を開設し聊か紳士諸君の御引立に報ひんと存候就ては座敷向き等も凡て改築仕日本式の粋を拔き藝妓仲居も弊店付として内地より二十五名計り呼寄せ特に料理は東京有名の厨士を聘し材料に乏しき當地にては不可得珍味佳肴を供すべく一切の準備相整ひ本日より安直を旨とし開業仕候間何卒賑々敷御來遊の程偏に奉希上候
追而料理部開業と共に旅館部にも改良を施し御客様の御便利御計可申候間不相變御引立の程願上候

旅館　營口第一ホテル
料理　第一樓
（電話八四）

廣告

當公司今般業務擴張の爲め特に敏腕熟練なる技術者數名を聘し公私を問はす和洋各種の建築及土木事業に關する製圖設計監督の依托に應し最も懇切敏速に處辨す

建築部主任技師工學士 森川範一
土木部主任技師 永原万吉
營口元神廟街第百七十二號(電話一七三番)
土木建築請負業 井上公司

萬代不朽 毛製屋根瓦ラバロイド及リサイト販賣廣告

ラバロイドルーヒングは堅牢にして極寒炎暑の候に耐へ如何なる地にても不適の場所なく龜破損漏水の憂なく良く極寒炎暑の地に適し床及階段等の敷物に有効なり
リサイトは室内装飾塗料にして通常ペンキの如く臭氣なく變色の憂決してなし
米國紐育スタンダードペイント會社東洋特約一手直輸入販賣元穴原商會營口特約販賣店
營口元神廟街第百七十二号(電話一七三番)
井上公司

醇良自釀清酒

エジプト煙草
インペリヤ(金口)
ヱキスタラフワイン(キルクロ)
右特約仕代價者精々安價にて賣出し候間多少に不拘御用命被下度候

牛莊港東營口
宅合名會社營口支店

雜貨商 永昌洋行

(元神廟街)(電話百三十七番)

本行開設營口已週一載幸蒙貴客商愛顧接踵購買致徵行名譽日增不勝榮幸現將發賣各種精詣味噌醬油以及磁器油器傢俱東洋綢緞帽子手巾地毯洋傘團扇玻璃鏡鑑婦女一切粧品腴皂皮包皮箱等類物美價廉核實輕減定價不二貴客賜顧請玉臨面識可也此啓

銘酒 白鶴 諸雜貨

今般新荷着仕候に付ては卸小賣とも是迄の賣直段より壹割引 酒及米、罐詰類は五歩引を以て販賣仕候間多少に不拘御用命被仰付度偏に奉願候 敬具

營口元神廟街 井門洋行
遼陽西門外 電話一八五 仝支店

胃腸病新藥 消化劑 糖化素

医学得業士 矢島氏發見
滿洲特約一手販賣 東瀛大藥房 營口大街

本劑專治脾胃失調飲食不化之諸症飯後脾胃疼痛過用米麪積滯腹瀉脹歡吞驚婦人懷孕患嘔吐之症熱病稍愈腸胃未至於調和又如停食胃口不開肝胃氣痛肚腹膨脹兩便苦澁之諸症均有卓効
發明者日本醫學得業士 矢島猴太郎 謹白

日本有名秘藥物發售廣告

●大日本帝國有名方劑 化粧品一切賣藥 卸賣並小賣
右を内地と同様の廉價を以て御便利を謀り卸小賣共に多少に不拘萬事御用命被仰付度候へば直に持參可仕候
大阪谷回春堂 營口永世街 滿洲總售處 三木司法部東隣 天堂大藥房(電話百九十番)

營口永世街回春堂大阪谷律速堂以從來本店の各種藥料香水一切の外貨を廣く招售致候間營口以北の諸君へ御用の節は本店へ御來臨可被下候 日本人は勿論清國人も均しく可發賣 此段廣告仕候也
回春堂 三木洋行 天堂大藥房(電話百九十番) 啓

發賣 材木 標子 木板 塩川商會

滿國營口二本町二五五號
主任 鹽川峯吉(電話一三六番)
遼陽小西門内 鹽川商會
●建築

外に用材
電柱用材杉丸太長(自二十尺至三十尺)八千本
北海道産松大角(自廿五尺至三十尺)二万立方尺餘
右之品多少に不拘特別安價を以て差上候條御入用の御方は御來臨被成下度候也

木村寫眞館

最新流行之
寫眞撮影法に附ては叮嚀且迅速を旨とし光線の配合及位置等に尤も注意をなし各位の御嗜好に任せ撮影可申上候
弊館は更に一大勉強をなし價格の廉なるよりも進て調製方を叮嚀になし寫眞一組毎に一枚を相添可申候事に相定申候
營口二本町

質屋營業

精々勉強御便宜相計り可申上候間多少に不拘御仰付け被下度願上候
營口永世街南憲第三十六號
北斗洋行質屋部

⊕ 豊生洋行

官製口付莨、文房具
和洋酒類
罐詰、菓子
藥品、雜貨
醬油瓶樽詰
防寒具、安價販賣
白米 卸商
營口西北街 豊生洋行(電話十三番)

石原商店

軍隊用雜貨
日用品雜貨
呉服太物類
化粧品類
陶器類
食料品類
卸小賣
其外新荷着精々安價販賣
營口永世街七十號(第二市場東) 石原商店

業務擴張

弊所儀從來活版印刷業罷在候處今回業務擴張の爲め印刷器械並に歐文活字を購入し更に歐文印刷部を新設し且つ技術に熟練なる職工を聘備致從來の御高恩に酬がため非常大勉強仕高需に應し可申候條尚不相變倍舊の御愛顧を垂れ御用命被仰付度伏て奉懇願候 敬具

活版印刷 幷に製本 弊所特色
●印刷鮮明 ●價格低廉 ●叮嚀專一 ●期日正確
營口入永世口街東二本町角
川本活版所

大日本政府特定 營口付紙捲煙草 滿州一手輸入發賣

江副洋行
營口永世街

惠比須ビール新荷着

●金升洋行
●盛進商行

美味安價西洋料理 牛莊亭

營口永世街五十二號鶴の湯東隣

御料理 滿月

平の町(電一六二)
滿月支店 平安町(元都樓跡)
店主 青木??

旅館 東京樓

萬事勉強乘車乘船好位置
營口中央市場前
店主 熊田兼次郎(電話百七十八番)
西洋料理仕出し御需に應ず
即席和洋料理 東京樓支店(電話四十四番)

時刻

區間	發	着
山海關至天津	上五、〇〇	下五、五五
唐山至天津	上六、一二	上一一、二八
塘沽至北京	上六、〇〇	下一二、〇六
天津至北京	上一二、〇〇	下五、二〇
山海關至北京	上八、	下六、四五
天津至唐山	上一一、四二	下五、一七
天津至山海關	上六、二五	下六、二一
唐山至山海關	上六、〇〇	上一一、五八
山海關至營口	上七、〇五	下四、五五
溝邦子至新民屯	上三、〇〇	下六、五七

輕便入院
永世街警務課ノ前

一、貨替附キ荷物ハ便利ヲ計リ可申候
一、引換書御送附ニ相成レハ諸費立換ヘ配達致
ハ保管可申候
市場北三階樓
時計店ノ二階
宮原公司

土木建築用鐵材料
其外鑄物諸般
街門會東
喜場

豫報

昨日の氣溫
最高溫度七十二度〇　最低溫度四十八度二
昨年との　高廿四度三　高十三度七

宮門抄

二十四日
戶部　宗人府　正白旗值日無引　見　吳重熹謝署江西巡撫恩　劉永亨等謝署缺恩　桂公假滿請安　廣東道段書雲謝恩　祿顯元瑞伺候　召見　順天府奏京師得雨一寸有餘
召見軍機　祿顯　元瑞　吳重熹
嚴修遞封奏一件

上諭恭錄

二十四日奉
上諭嚴修奏懇請收回成命一摺現在舉行新政朝廷破格用人皆當力任艱鉅不得意存退讓徒博虛名該侍郎所請各節應毋庸議並着傳旨申飭嗣後大小臣工共當仰體時艱盡心職任用副朝廷實事求是之至意欽此

論說

營口宜設商會說

譬猶木焉。千枝萬葉會於根。而發生始暢。譬猶水焉。三江九河會於海。而流派不衰。譬猶人焉。九官百骸會於心。而四體從令。脈絡貫通。無壅滯之敝。無災沴之侵。而後可全身體。使息息相關也。物性如此。人理亦然。即商業發達之目的。又何獨不然也。方今二十世紀。文明大啓。天演進化之時代。五洲各國。皆挾其競爭劇烈。電掣風馳之手段。推擴商業界之勢力範圍。以爭優勝於東亞大陸。我支那商界上之多數人羣。設猶昏沉沉鼾睡也。固亦莫如之何矣。若思有警醒之一日。起而與世界之商戰家。較其優劣。決其勝負。以補塞溢外之漏巵。是必有術焉。非可以徒手爭。亦非可以空言勝也。厥術維何。則設商會是。夫今日之天下。一商戰之天下也。農戰。工戰。學戰。兵戰。而皆以商戰爲樞紐。況中國各商埠。又各國商戰所注重之中心點也。即如營口一隅。已爲多年通商口岸。各國商行。星羅棊布。勢不能使我商之利權。不受外人侵越。而猶依然守其故步。過其新歲。是何異以木梃敵利刃。以磨銃敵快礮也。其不傷乎貫革。以憊日殆者。此必無之事。抑亦決無之理也。於是而尚不急設商會。以開通風氣。聯商會以瀹淪利源。奚可哉。

設商會之法。約有數端。請畧其說。俾商界諸君。略資采擇焉。一在乎合群。凡人散則弱。合則強。聚則興。分則廢。一木難支乎大厦。衆擎易舉乎千鈞。其理淺近而易明。其事旁徵而有據。我中國人所以每見輕侮於外者。以離而不合。孤而不羣之故也。地大物博之中國。人民四百兆。版圖百餘萬方里。苟合群策群力。而日進無疆。何利不興。何功不就。以吾國人格。聰明才智。何遽遜於外人。而自暴自棄如斯。則結團体以合群其首要也。一在乎尚公。凡人莫不厚己而薄人。先我而後彼。處一事也。爲己則著著爭先。爲人則時時觀望。遇一物也。已思得之則萬慮畢殫。人欲得之。則多方排阻。此無他。不明公義故也。如設商會。必先除此結習。而後事事可次第而理。須知個人之才有限。便一己之私圖。何以漸興大利乎。是必出之以公。爲人謀不啻爲己謀。人人皆有公同振奮之心。商業之膨脹發達不難也。公者對私而言也。人人無私。則求公益。謀公利。集公股。創公司。種種公便無窮矣。一在乎明信。中國商界之弊。率皆爾詐我虞。互相欺飾。有時以多而爲少。恐折閱也。有時以虛而爲實。期通融也。甚或資本無幾。而鈔鉅萬。欺衆也。交際有素。而屢謀傾軋。背義也。凡此皆無信也。行之一方且不可。況全國乎。況交通之時代。與接爲搆者。不止一國乎。以此爭衆行遠。實足以自窘其途。而莫由進步。論語云。人而無信。不知其可也。又譬以大車小車無輗軏之難行。爲無信者痛下鍼砭。則商業家之講信。其最要也。一在乎達情。一市有一市之商情。一省有一省之商情。一國有一國之商情。各國有各國之商情。通乎此。達乎彼。對鏡參觀。研窮探究。而其眞蘊畢呈。事事方有把握。否則冒然一試。姑無論其不可。縱令利市三倍。問其所以致此之故。而已亦啞然笑。爽然失矣。兵法云。知己知彼。百戰百勝。商戰何殊乎兵戰。而欲逞強勢。於商戰劇烈之際。非通達外情。亦何由收回外溢利權乎。一在乎有恆。勿因小挫而失其銳氣。勿因旁阻而墮其精神。竭力圖維。孜孜不已。終必有滿足希望之一日。若或作而或輟。雖日進而日新。雖有絕大利益。絕大事業。淺嘗輒止。見異思遷之躁心人。固未許嘗其一臠也。易曰。天行健。君子以自強不息。惟健也。乃能時行。惟自強乃能不息。嘗攷各國公司洋行。有數百年而依然興盛者。日本之三井。近已三百餘年。有恆之效果。如是其彰明較著也。斯亦可以取法。而自定其方針矣。合此數者之益。去彼反對之損。速設商會。加意研求。或購閱各省商報。及各種商務書籍。尋其前迹。繹其新機。有利可興。求何以興之。有弊宜去。求何以去之。勿似今之腐敗商會。合代表人。以醉飽爲人利。以趨奉爲專司。以經手侵漁爲慣技。而尚不急圖改良進步。一任其腐敗如故也。而莫之挽救也。則亦無如之何也已矣。

東京電報

●觀櫻賜宴之盛況

本日　日皇於芝離宮賜觀櫻之宴。於內外臣僚。叅列者共五千六百七十二名。在橫濱埠碇泊之英美德法軍艦武員等。亦特上岸參列。比之例年外臣之參列者。約增五百名云。

●美國地震之慘狀

美屬桑富蘭洗斯科埠於西四月十八日俄然起地震。繼以火災。死者共二千餘名。房屋之燬燒潰崩者不知凡幾。大約該埠一周圍八十哩之間。都市城邑或破壞。或傾圮。到處皆莫不被其留害。如在該埠華民街。最極殺亂紛擾慘狀無名。其家財商貨之損害。共四萬萬圓之譜。刻現失業彷徨路頭者。有數十萬人。且在該埠電報局員等避災不知其所之。電報亦因之阻滯。未悉復舊之期云

（以上西四月十九日發）

中外要聞

●程軍帥調員查礦　俄軍前年乘金匪滋擾佔據黑省金礦肆行開挖。得利益不可勝計。迨今年中俄議約。唐侍郎與俄璞使磋商。據理力爭。擬收回此等礦產。以歸中國自辦。然璞使以周晃曾約爲口實。未肯歸還。彼此堅持。互費磋商者數旬之久。俄使竟允通融訂約。然世人以爲俄使雖允通融改約。是不過取巧之手段。想必依然佔據金礦。不肯歸還矣。黑省程雪帥有見於此。決計擬乘此好機。派劉觀察試辦都魯河金礦。並調查觀音山金礦。以爲收回金礦地步。日前電請外部照會俄使轉飭俄武員。毋庸阻撓。外部當即照會俄使。聞俄璞使已允轉達俄武員照辦。想劉觀察日內啓程矣。按都魯河觀音山兩金礦。礦苗甚旺。實爲黑省金礦之冠。然數年以來。被俄人佔据。而我國未能受其利益。常爲愛國之士所浩歎。今也程雪帥派劉觀察調查兩礦。其有收回之意。不待識者可以知矣。噫。劉觀察此行關繫甚重。吾人深望其不辜負國民之冀望焉。

●藏約移京　上年唐筱川侍郎奉　旨赴印度喀爾喀打府與印度總督嗒遜君磋商藏約。唐侍郎以中國爲西藏主國。而印度總督以中國之上國。互相堅持不肯退讓。將見決裂。於是唐侍郎告病停議。回京當時我政府擬將藏約移北京會議。適因小故復停。旨著參贊張觀察接議。然中國在印度磋商藏約。每因有要事應電商外部請示。輒不免有隔膜之憾。爲此會議益見遷延。於是外部決計照會英使。請移于北京會議。已經英使照允。惟尚未開議。聞外部因唐侍郎前爲議約委員。擬再派該侍郎會議云

●梁道有補臬司消息　聞內廷人云。日前梁敦彥觀察面奏南　教案一事。井井有條。頗愜聖懷。極蒙　兩宮嘉許。政府諸公亦羨其才。議擬俟教案議結。保其升補江西臬司。以資治理。惟未悉能邀　兩宮俞允否

序說

送孫幼穀知府之洮南序

小山軍政官

曩者奉省以瘡弊困頓之餘。當強悍不屈之國。百萬日滋之師。內無熊羆貔虎之衞。外無蚍蜉螻蟻之援。上下危懼。人心洶洶。莫知所適從。即以有位知名之士大夫。而不免於誤利義失嚮背者。不可一二數。獨孫君幼穀。岌岌而操其間。能主帥支持危局。及我軍逐驕寇入省垣。身任交涉事理。葛藤於談笑之中。全睦誼于揖讓之間。而卒居退然若無一長可恃。蓋其爲人。含淵蘊藉。能焉而不伐。斂焉而愈光。殆古之所謂大雅者歟。歲之季春。有知洮南之命。將去省垣。余承乏軍政駐省尤久。與孫君日夕晤語。獲益於君洵爲不小。今之行吾豈得無介然於懷耶。顧東省之役。中國實爲之事主。事主不自爭隣人乃代爭之。還之事主。實爲千古異例。於是乎狃牽常識之徒。即主權之說中立局外之論起。且自軍興來。我猛將健卒。限命鋒鏑者。以萬數。其來于茲境者。率皆出萬死而得一生。殺伐之氣未熄。粗放之習未改。于是上者又思其勢而諒其情。欲與一刻休養之間以慰積日攻鬭之苦。蓋亦人之情。倘使夫狃牽常識之士。挾地主中立之論。以從事此區乎細故之所積。微隙之所長。必有堪設想者矣。賴有大雅君子。以忠恕之心。決盤錯之事。以同仇之義。盡東道之誼。終使主客之際。和衷圓融。無鬩牆之嫌。而有禦侮之功。此豈但一局之幸。一省之慶而止哉。今大亂初平。省事方繁。而孫君則去。顧往思來。其何以爲情。吾聞洮南者。法庫遼門之外。距省垣蓋千三百里。其北一帶蒙古之地。尚有強悍不屈之衆。盤踞焉。孫君覽其山川。見其佈置經營之勢。其可以慨然而思。惕然而興矣。請以爲贈

NEWCHWANG SATURDAY, APRIL 21, 1906.

The general levelling of the Recreation Ground is nearing completion under the supervision of Mr. C. Moore. A tennis court and a cricket ground are to be laid anew on an ideal plan. When all is done, the extensive ground made even and smooth without a blade of grass marring its spotless neatness and enclosed with a solid brick wall opening at a light iron gate, will be just 'in the prime of form,' in such a striking contrast with what it was during the war time.

Mr. Kurosawa who returned from Peking last Thursday evening had an illustrious companion-traveller all the way back in the person of Mr. S. Otani who is closely related to the Exalted Head of the Hongwanji Buddhist Sect.

Mr. Otani has come from Shanghai *via* Hankow and Peking and is bound for Tairen to meet his brother resident there, and is stopping at the "Manchuria."

Mr. Kurosawa left Niuchiatun yesterday afternoon for Tairen *en route* to Japan on a short leave. We understand that he will come back to Newchwang to resume his duties some time in May.

The work on the wreck of the "Yatsunamaru" lying just above the Customs is to be now resumed. It had to be dropped off yet in its initial stage last November on account of the increasing cold.

Mr. H. Inouye who blasted up the sunken "Sankomaru" last fall has just arrived from Japan where he remained during the winter, in order to fulfil the terms of his contract with regard to the removal of the obstruction right in the path of the river traffic.

The latest Tokyo advices inform us that M. Bakhmetieff was received in audience by H.I.M. the Emperor on Wednesday last, as previously reported, when the Russian Minister presented his credentials.

5672 foreigners and Japanese altogether were invited to the Cherry-Blossom-Viewing Party held last Thursday at the Hama Detached Palace. A large number of officers on board the British, American, French, and German men-of-war at anchor at Yokohama attended the annual floral function, in which 500 more foreigners took part than on the preceding occasion last year.

Dr. J. Takamine, *Kogakuhakushi*, who has been married to a St. Louis lady of high social connection and has settled down in Chicago, has been decorated with the 5th Order of the Rising Sun in recognition of the merit of his sundry chemical inventions.

The "Yaami" Hotel in Maruyama Park Kyoto, popularly patronized by foreign tourists, was destroyed by fire on the 17th inst. Two foreign lady guests are reported missing.

Mr. E. Shibusawa and Mr. K. Okura, two of the most prominent businessmen of Tokyo, have filed an application with the Minister of Agriculture Commerce and Industry, Korea, in order to obtain a permit for building a power-house for an electric company in joint contemplation.

A conflagration broke out in the wake of the great earthquake at San Francisco. A panic seized the China Town in which an indescribable confusion prevailed. Over 2,000 lives have been lost. The loss of property is roughly put at $400,000,000. Hundreds of thousands of people are rendered homeless. The shock was experienced over a circular area within a radius of 80 miles with San Francisco for the centre and has inflicted damages of more or less magnitude. It has been officially notified that, owing to the extraordinary seismic disturbance, telegraph operators are in great numbers off their posts of duty, and all telegraphic communications are in consequence exposed to the danger of indefinite delay.

A rise of another ¼-sen has buoyed up the exchange rates in transmission.

(April 20, 1906.)

JAPAN	Bank T.T.	99¾
	" Dem'd	100
	P'ate 15 d/s.	99¾
SHANGHAI	Bank T.T.	71
	" Dem'd	71¼
	P'ate 15 d/s.	72¼
TIENTSIN	Bank T.T.	102¾
	" Dem'd	102½
	P'ate 10d/s.	101⅛
LONDON	Bank T.T.	2/-3/8
	" De'd	2/-7/16
	Cr. 4 m/s.	2/1 1/16
AMERICA	Bank T.T.	49⅞
	" Dem'd	49⅝
	Cr. 4 m/s.	51⅛
Bar silver	- - -	29 15/16

營口旅館料理店案内（いろは順）

料理 入船亭 永世街百八十三號 谷初次郎

旅館 日營ホテル 河岸通り 店主 井上源吉

料理 東京館 永世街八十六號 店主 村上京四郎

旅館 東茂旅館 西北街百七十三號 正金銀行西三程

料理 千鳥 元神廟街百三十三號 店主 吉住善藏

料理 沖の島 永世街百六十四號 店主 中川彌三郎

料理 吉野亭 永世街八十六號 店主 坪田正好

旅館 高砂ホテル　料理 高砂亭 西北街 店主片山小みつ（電話一四五番）

旅館 竹村館 永世街二十二號 店主 麻田久二（電話五一）

旅館 大和館 永世街三十四號 店主 前田九一郎

料理 滿洲樓 南永世街第十號 店主 直塚勝一

料理 萬梅 豊濟門街第百〇四號 店主 田島彌助

料理 まんなをし 永世街字二本町二百五十九号 店主 和田常松

和洋御料理 公樂園 南永世街

東京生蕎麥一式 東庵 元神廟（電話百五十九）

旅館 金城ホテル 永世街百六十六號

料理 第一金城ホテル 永世街百六十六號 店主 齋藤富次郎

料理 醉花園

旅館 澁谷旅館 永世街百二十七號 店主 澁田留吉

料理 喜樂亭 營口元神廟街

旅館 東雲旅館 永世街七號 店主 谷口今朝太郎

營口軍政署御用旅館 東雲 主任 谷口今朝太郎

爲替相場（四月二十日）

日本向 一百圓（軍票百圓に付）

上海向 七十一兩二十五錢（同）

天津向 一百〇二圓五十錢（百弗に付）

日本品最近物價表 加藤洋行

紙類

一半紙 一〆 二圓九十錢より三圓廿錢

一美濃紙 仝 七圓五十錢

一仝狀袋 二十枚續 三錢二厘以上四錢

一滿圓 百枚 十三錢以上十八錢

室內裝飾品及寢具 矢野洋行

一滿圓 三枚組 六圓九十錢以上六十五圓

一座ブトン 十枚 六圓五十錢以上三十五圓

一疊 二圓六十錢以上三圓

一薄縁 十枚 八圓

一麻緞通 一疊敷 三圓

一綿緞通 仝 三圓五十錢

一白… 仝 一圓七十錢

さるそば 第一更科 營口元神廟街

さるそば 第二更科 永世街鶴の湯傍

御料理 柳亭 叮嚀專一 豊濟門街二三 店主 玉岡益人

御料理 一力 並ニ温泉 毎日新湯 營口永世街 店主 堀万助

營口元神廟街一四三号 住松信太郎

和洋料理 松月亭

料理 都樓 平野町 店主 坂本ちか

遼陽旅館料理屋案内

旅館料理業 日營ホテル支店 主任 井上源吉

御料理會席 菊水館 主任 朝枝園提

旅館西洋料理 遼陽館 主任 永瀨宇吉

旅館料理業 公陽館 主任 宮川秀基

御料理會席 末廣屋 主任 山根初之亟

御料理 凱旋亭 色々應御注文 主任 古谷庄太郎

旅館御料理 遼塔ホテル 主任 木村常吉

遼陽兵站司令部指定ホテル 遼陽倶樂部 營口東雲館支店 主任 谷口今朝太郎

會席 玉家 主任 西野治三郎

御料理會席 來々亭 主任 石田清

和洋料理御旅館 滿洲ホテル 遼陽西街西門一一七号 上松榮治郎

一和洋御料理 遼東館 遼陽城內東街

本館は遼陽城內第一繁盛の地にあり內外人往來頻繁なり今般四方紳士諸君の御勸に依り宏莊美麗なる日本風の家屋を新築致し一百人以上の宴會等も出來得へく廣間も御座候に付ては續々御光來被成下度花客諸彦に對し親切叮嚀を旨とするは弊館の特色に御座候

奉天旅館料理屋案内

旅館 奉天館 奉天城內鐘樓南大 奉天軍政署指定旅館（電話一五）

和洋御料理 日清倶樂部 奉天大南門裡大街（電話一四）

商人御定宿 瑞豊館 奉天小西邊門外大街路北側 館主 …嘉吉（電話 號）

會席御料理 高等御旅館 天神樓 奉天小西門通（元紅葉館跡） 温泉付大勉強キレーデヲイシヒ（電話 號）

旅館料理店 日の出樓 樓主 大瀨七造（電話十七號）

旅館料理店 日盛館 奉天小西邊大街南 館主 入江…男（電話 號）

旅館料理店 梅松館 奉天城內灰市街東華門宮殿東側 館主 押尾富次郎（電話 號）

旅館料理店 大和館 奉天大西關高臺子廟前 館主 今井コノ

旅館 大正館 奉天小西邊門外十間房道北側 館主 大草村行

奉天に於ける日本風新築家屋は弊館より外に無之特に夏期御宿泊には最も適すへき樣に相成居候間御投宿の節は至極叮寧に御取扱可申上候以上

御旅館料理 髙砂館本店 奉天十間房第十五號

旅館料理 奉髙館 奉天城外廿四 高砂館支店 店主 宇本智平

旅館料理店 日奉館 奉天小西門外大街 館主 原田清五郎

高等旅館 東洋館 奉天大西門外小什字街（電話號） 主任 藤島初野

御料理 梅ヶ枝 奉天小西門より一丁西の辻北入 館主 辻井ムメ

旅館料理店 勉強館 奉天小西關外北長榮園隣

高等御旅館 茂林館 奉天小西關大街路北（電話二十五號）

旅館料理店 日章館 奉天小西關大什字街南へ入

牛肉すき燒 雞肉 日章亭（電話 號）

御旅館 瀋陽館 奉天小西門外大街路北

撫順炭大販賣 多少に不拘御用命被仰付度願上候 金城館販賣部

特別室落成 營口金城ホテル旅館

會席御料理 金城館

奉天小西門外 會席御料理 高等御旅館 金城館

M. Iizuka,
CONTRACTOR,
ARCHITECT AND CIVIL EGINNEER.

Plans and specifications made to order.

ESTIMATES SUBMITTED.
MODERATE RATES.
No. 151 Yuwansinmiao
Ying Kow

自造 煉瓦 瓦 並に各種石材販賣 營口青堆子 加州組（電話八十六番）

材木 荒物 販賣 秋田洋行 營口永世街第一八四號平野町 本店 下關 秋田寅之輔商店

着荷廣告

筑前博多單帶、仝伊達卷、御召類、セル地、ゴム引防水布外套、金庫、錫製品各種、輕便水漉器械、洗桶、專賣特許米洗器、等勝手道具いろ〳〵 萬年筆、洋菓子、ネクタイ、洋傘、

營口 加藤洋行（電話八十番）

四月十八日ヨリ仝廿八日マテ本社事務員仝診査醫當地滯在契約ノ御便利相計リ申候

明治生命保險株式會社牛莊代理店 加藤洋行

工

營口元神廟前 飯塚工程局材料部（電話百三十五番）

弊局土木建築材料品の各産地と特約を結ひ廉價を以て多少に不拘賣却仕候間御引立の程奉希上候

一北海道産松大角材外種々

一石灰、石材、敷石、碎石、煉瓦等

一日本石炭數種

大連 東洋ホテル 大連鐵道停車場附近民政署前兒玉町

西洋家具製造販賣 營口青堆子 清水室本局（電話九十四番）

發賣 料木、杆子 一丈 一丈二　亞鉛板、白糖、醬油、日本米、菓子、朝日、麥酒 雜貨一切御賣 日本酒春駒一手販賣

捌荷洋行 營口元神廟街（電話一四七番）

MANCHURIA DAILY REPORT.
Subscription 4 cts. a copy
80 cts. per month.
$2.30 per 3 months.

本紙定價

一枚ニ付 銀四仙
一ヶ月前金 銀八十仙
半ヶ年前金 四弗八十仙
一ヶ年前金 銀九弗六十仙
廣告 二十一字詰一行一回 銀二十仙